

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2020 年 11 月の経済報告】

2020 年 11 月 25 日

(一財) マイクロマシンセンター  
(<http://www.mmc.or.jp/>)

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

## 1. 全般動向

### ■ 景気動向指数 令和 2 (2020) 年 9 月分 (速報) の概要 (内閣府、令和 2 (2020) 年 11 月 9 日発表 より抜粋)

- ① 9 月の CI (速報値・平成 27(2015)年=100) は、  
先行指数：92.9、一致指数：80.8、遅行指数：92.2 となった。

先行指数は、前月と比較して 4.4 ポイント上昇し、4 か月連続の上昇となった。  
3 か月後方移動平均は 3.00 ポイント上昇し、3 か月連続の上昇となった。  
7 か月後 方移動平均は 0.24 ポイント上昇し、33 か月ぶりの上昇となった。

一致指数は、前月と比較して 1.4 ポイント上昇し、4 か月連続の上昇となった。  
3 か月後方移動平均は 2.06 ポイント上昇し、2 か月連続の上昇となった。  
7 か月後 方移動平均は 1.93 ポイント下降し、23 か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して 0.9 ポイント上昇し、3 か月ぶりの上昇となった。  
3 か月後方移動平均は 0.30 ポイント下降し、13 か月連続の下降となった。  
7 か月 後方移動平均は 1.26 ポイント下降し、14 か月連続の下降となった。

- ② 一致指数の基調判断  
景気動向指数 (CI 一致指数) は、下げ止まりを示している。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・景気動向指数「令和 2 (2020) 年 9 月分 (速報) の概要」pdf へ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202009psummary.pdf>
- ・(ご参考) 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例経済報告（11月）（内閣府、令和2年11月25日（水）公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より抜粋）

#### <日本経済の基調判断>

##### （現状）【判断維持】

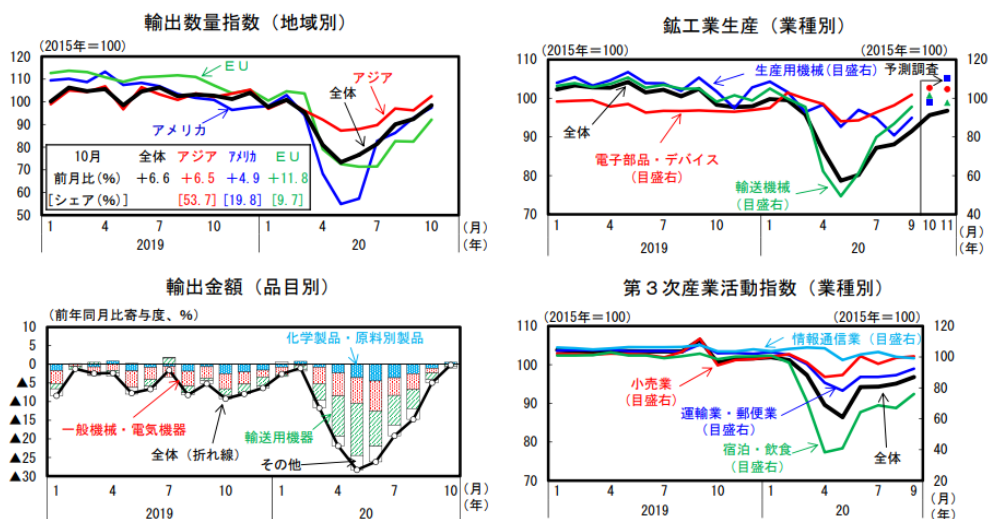
- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。

##### （先行き）

- ・ 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

#### 今月の指標(2) 輸出・生産

- 輸出は、持ち直しが継続。品目別にみると、自動車を含む「輸送用機械」や、半導体やその製造装置を含む「一般機械・電気機器」など幅広い品目が持ち直しに寄与。
- 製造業の生産は、輸出の復調を受け、持ち直しており、予測調査でも11月まで増加が続く見通し。非製造業の生産も、国内消費の増加を背景に、テンポは鈍いが、持ち直している。



(備考) 1. 左上図及び左下図は、財務省「貿易統計(10月速報)」により作成。左上図は、内閣府による季節調整値。EUは全期間にわたり英国を除く27か国ベース。各シェアは2019年の金額シェア。  
 2. 右上図及び右下図は、それぞれ経済産業省「鉱工業指数」、「第3次産業活動指数」により作成。季節調整値。

詳細は以下より内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」をご参照下さい。

11月例経済報告資料 pdfへ:

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2020/11kaigi.pdf>

(ご参考) 内閣府「例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」関連 TOP ページ:

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

■ 設備投資 令和2年9月実績：機械受注統計調査報告  
 (令和2年11月12日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

1. 機械受注総額の動向をみると、2020（令和2）年8月前月比19.8%増の後、9月は同4.4%減の2兆972億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比0.3%減の9,258億円、官公需は同20.0%増の3,213億円、外需は同16.7%減の7,655億円、代理店は同2.7%増の1,026億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2020（令和2）年8月前月比0.2%増の後、9月は同4.4%減の7,193億円となった。このうち、製造業は同2.0%増の3,174億円、非製造業（除く船舶・電力）は同3.2%増の4,253億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2019年	2020年	4-6月	7-9月	10-12月	2020年	7月	8月	9月
		(令和元年)	(令和2年)				(令和2年)			
		10-12月	1-3月	(実績)	(実績)	(見通し)	6月	(実績)	(実績)	(実績)
		(実績)	(実績)				(実績)			
受注総額		-5.4	3.9	-17.7	7.8	-7.8	-8.4	7.0	19.8	-4.4
民需		-4.3	-5.1	-8.4	1.9	-3.2	-7.4	12.2	-0.5	-0.3
” (除船電)		-1.8	-0.7	-12.9	-0.1	-1.9	-7.6	6.3	0.2	-4.4
製造業		-2.8	1.8	-16.6	3.0	-1.9	5.6	5.0	-0.6	2.0
非製造業(除船電)		3.6	-5.1	-9.7	-2.5	-1.2	-10.4	3.4	-6.9	3.2
官公需		-10.5	25.5	2.5	-14.6	-5.9	-20.0	-30.4	28.3	20.0
外需		-7.9	8.7	-32.1	28.4	-14.2	-3.9	13.8	49.6	-16.7
代理店		-3.1	3.6	-17.0	1.6	2.6	2.5	2.3	0.5	2.7

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・ 令和2年9月実績：機械受注統計調査報告  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2020/2009juchu.html>
- ・ (ご参考) 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連 TOP ページ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数調査 結果の概要【2020年9月分】  
 (経済産業省 2020年11月16日発表 より抜粋)

<概況>

- 製造工業生産能力指数は、97.3で前月比-0.3%の低下。  
 低下業種： 窯業・土石製品工業同-2.8%、汎用・業務用機械工業同-1.0%、  
 生産用機械工業同-0.2%等  
 上昇業種： 電気・情報通信機械工業同0.1%
- 製造工業稼働率指数は、90.0で前月比6.4%の上昇。  
 上昇業種： 輸送機械工業同10.5%、電気・情報通信機械工業同11.7%、  
 汎用・業務用機械工業同12.2%等すべての業種

製造工業生産能力指数、2015年=100

生産能力	原指数		
	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
	97.3	-0.3	-0.5

製造工業稼働率指数、2015年=100

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
	90.0	6.4	93.1	-8.1

鉱工業指数、2015年=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	91.5 (91.6)	3.9	95.5 (95.6)	-9.0
出荷 (速報値)	90.5 (90.4)	3.9	94.9 (94.8)	-9.8
在庫 (速報値)	97.5 (97.7)	-0.5	96.7 (96.9)	-5.7
在庫率 (速報値)	117.8 (118.6)	-4.4	111.6 (112.4)	6.7

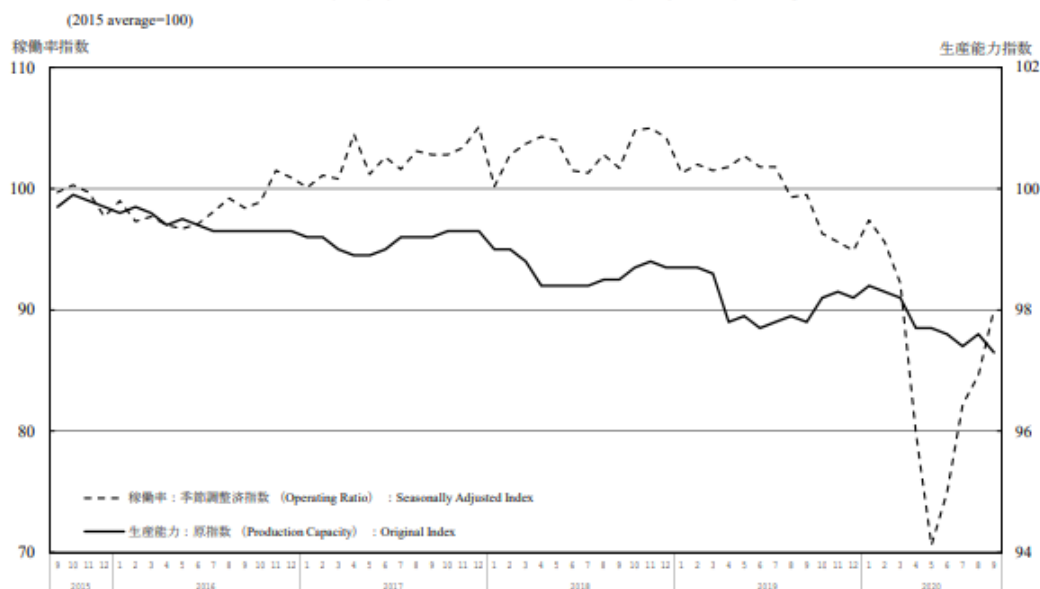
<2020年9月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向>

製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表  
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

index,2015= 100

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio				Year and Month
	原指数 Original Index			季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index		
	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)	前年 (同月期)比 %Change From Previous Year		前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)		前年 (同月期)比 %Change From Previous Year		
2017年	99.3		0.0			102.3	3.9	C.Y. 2017
2018	98.7		-0.6			103.1	0.8	C.Y. 2018
2019	98.2		-0.5			99.9	-3.1	C.Y. 2019
2017年度	98.8		-0.2			102.7	3.5	F.Y. 2017
2018	98.6		-0.2			102.5	-0.2	F.Y. 2018
2019	98.2		-0.4			98.3	-4.1	F.Y. 2019
2019年 III期	97.8	0.1	-0.7	100.2	-1.9	100.5	-0.5	Q3 2019
IV期	98.2	0.4	-0.5	95.6	-4.6	96.3	-8.9	Q4
2020年 I期	98.2	0.0	-0.4	95.1	-0.5	95.2	-6.3	Q1 2020
II期	97.6	-0.6	-0.1	75.2	-20.9	74.6	-26.3	Q2
III期	97.3	-0.3	-0.5	85.6	13.8	85.9	-14.5	Q3
2019年 7月	97.8	0.1	-0.6	101.8	0.0	107.9	2.8	Jul. 2019
8月	97.9	0.1	-0.6	99.3	-2.5	92.3	-4.9	Aug.
9月	97.8	-0.1	-0.7	99.5	0.2	101.3	0.4	Sep.
10月	98.2	0.4	-0.5	96.3	-3.2	98.5	-8.7	Oct.
11月	98.3	0.1	-0.5	95.6	-0.7	96.1	-10.4	Nov.
12月	98.2	-0.1	-0.5	94.9	-0.7	94.4	-7.5	Dec.
2020年 1月	98.4	0.2	-0.3	97.4	2.6	93.6	-3.9	Jan. 2020
2月	98.3	-0.1	-0.4	95.6	-1.8	92.6	-7.3	Feb.
3月	98.2	-0.1	-0.4	92.2	-3.6	99.4	-7.6	Mar.
4月	97.7	-0.5	-0.1	79.9	-13.3	79.8	-21.5	Apr.
5月	97.7	0.0	-0.2	70.6	-11.6	66.5	-33.4	May
6月	97.6	-0.1	-0.1	75.0	6.2	77.6	-23.9	Jun.
7月	97.4	-0.2	-0.4	82.2	9.6	87.2	-19.2	Jul.
8月	97.6	0.2	-0.3	84.6	2.9	77.3	-16.3	Aug.
9月	97.3	-0.3	-0.5	90.0	6.4	93.1	-8.1	Sep.

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)  
Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

- ・ 鉱工業指数関連 結果の概要ページ :

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

- ・ 2020年9月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向 (pdf) 資料

[https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_202009nj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202009nj.pdf)

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2020年10月30日発表より抜粋)

#### 【2020年8月動向概況】

- ・ 2020年8月のグローバル出荷額は2,952億円、前年比93.2%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比102.2% 1,333億円）、接続部品（同88.2% 735億円）、変換部品（同73.5% 445億円）、その他の電子部品（同103.3% 438億円）となった。
- ・ 域別出荷は日本（前年比83.0% 574億円）、米州（同93.5% 312億円）、欧州（同89.1% 269億円）、中国（同104.5% 1,207億円）、アジア・その他（同86.1% 593億円）となった

#### 【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2020.10.30 発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2020年度						4月-8月		
	6月		7月		8月		金額(億円)	前年比 (%)	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)			
世界計	2,768	94	3,011	94	2,952	93	13,725	88	
(日本)	627	87	641	82	574	83	2,982	83	
品目別	受動部品	1,277	102	1,374	103	1,333	102	6,318	96
	コンデンサ	943	105	1,020	108	990	106	4,674	100
	抵抗器	110	94	113	90	100	85	534	87
	トランス	27	78	30	85	26	91	137	78
	インダクタ	193	101	206	91	212	93	954	90
	その他	2	93	4	188	4	122	18	125
	接続部品	700	87	769	87	735	88	3,371	81
	スイッチ	272	73	307	79	299	85	1,289	67
	コネクタ	425	100	459	94	432	89	2,069	93
	その他	2	55	2	66	2	74	13	63
	変換部品	398	76	432	77	445	73	2,009	73
	音響部品	84	72	91	79	87	74	407	69
	センサ	159	81	177	87	177	88	830	83
	アクチュエータ	154	74	162	68	180	62	771	66
	その他の電子部品	392	108	434	102	438	103	2,025	99
	電源部品	156	105	164	103	150	99	752	98
高周波部品	235	110	270	102	267	105	1,273	100	

#### 【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額  
 <<2020年度>>

地域別出荷金額 (億円)	2020年度						2020年度累計	
	6月		7月		8月		4月-8月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	2,768	94	3,011	94	2,952	93	13,725	88
日本	627	87	641	82	574	83	2,982	83
米州	263	84	312	95	312	93	1,207	72
欧州	226	74	263	83	269	89	1,098	68
中国	1,116	113	1,191	109	1,207	104	5,722	107
アジア他	537	87	606	89	593	86	2,729	82

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

[https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上